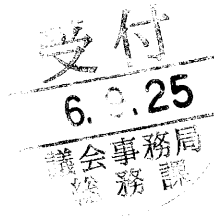


(様式1)



2024 (R6) 年 9 月 24 日

京丹後市議会 議長 様

会 派 名	無会派
氏 名	永井 友昭



調査研究等計画書

下記のとおり計画しましたので届け出ます。

記

- 1 日程 2025 年 1 月 29 日(水)から 1 月 30 日(木)
- 2 場所 1/29、沖縄タイムズホール 沖縄県那覇市
1/30、沖縄県市町村自治会館 沖縄県那覇市
- 3 目的 第 20 回全国地方議員交流研修会 参加
混乱する世界情勢、緊張の高まる東アジアの状況、国の軍事強化政策
などの中、自治体のあり方や全国での実践について、国内の米軍基地
が集中する沖縄で学ぶ。
- 4 該当する政務活動費の使途項目
①会場への往復旅費
②1/28、29、30 の宿泊費
③研修会参加費
- 5 概算経費
①往復で、約 45,000 円
②3 泊で、約 32,000 円
③21,000 円 合計約 98,000 円
- 6 参加議員名
永井 友昭
- 7 参考添付資料等 別紙

第20回

全国地方議員交流研修会 in 沖縄

〔延期のお知らせ〕 予想される総選挙との関係で前回ご案内の開催日を10月29日(火)から2025年1月29日(水)へと3カ月延期致しました。

3日目

水

木

金

全体会

分科会

9:30開演

全体会 14:00～16:00

沖縄県市町村自治

沖縄県那覇市

名刺交換会

●開会挨拶

●来賓 各界からの挨拶

●開会挨拶

●問題提起

「欧米からグローバルサウスの時代へ
われわれはどうするか？」

羽場 久美子 さん(青山学院大学名誉教授)

「食料自給向上のための提言」(オンライン)

鈴木 宣弘 さん(東京大学院教授)

●特別報告

○「米軍基地・自衛隊基地に翻弄される沖縄」

三上 智恵さん(映画監督)

○日中不再戦 九州自治体議員の会

○食料自給の確立を求める自治体議員連盟 他

●基調提案 実行委員会

沖縄県平和祈念公園「平和の礎」／「さざなみの池(平和の火)」
沖縄県那覇市東文仁4-4-4

中央の噴水から「さざなみの池」に流れ落ちる水は波紋をつくり、刻々面まで放射状に広がっていくようデザインされています。その波は「平和の波」となって世界中に広がっていくことの願いが込められています。「平和の火」は、沖縄戦最初の米軍上陸地である阿志高で採取した火と、被爆地：広島・長崎からいただいた火を合わせたもので、設置の日などに灯されます。

参加費

都道府県市区議会議員 15,000円 / 町村議会議員 5,000円 / 一般 1,000円 / 大学生・高校生以下 無料
別途希望者のみ ※名刺交換会費 + 6,000円 ※2日目の弁当代(お茶付き) + 1,000円
※フィールドワーク参加費 実費 (おおよそ3,000～4,000円)

申込方法

●第20回全国地方議員交流研修会 下記webサイトの専用申込みフォームからお申込みください。
<https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q> 右のQRコードからも申し込めます。
●FAXでのお申込みは、FAX申込み用紙をダウンロード、印刷してお申込みください。
●申込み用紙の郵送をご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。

第1次締切 12月20日



問合せ

全国実行委員会事務局 自主・平和・民主のための広範な国民連合全国事務局

〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F

TEL. 090-8588-8307 (担当:迫田) E-mail: giin@kokuminrengo.net FAX. 044-541-2066

主催：第20回 全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表：北口 雄幸(北海道議会議員) 藤本 貞利子(和歌山県議会議員) 山内 末子(沖縄県議会議員)



第20回 全国地方議員交流研修会のご案内

世界の変化は明瞭となっています。これまで世界を支配してきた欧米目の「先進国」が衰退し、中国、インドなどこれまで抑圧されてきたグローバルサウスの国々に世界経済と政治の重心が移っています。

ロシア・ウクライナ戦争から2年半が経ち、イスラエル・パレスチナ戦争も停戦にいたらず莫大な犠牲が出続けています。世界の格差は拡大して飢餓人口は7億3500万人に、難民数も1億人を超えたといわれています。戦争と貧困をなくすために、日本がとるべき道が厳しく問われています。中国脅威、「台湾有事」が喧伝され、防衛費は倍増、「専守防衛」は事実上放棄、自衛隊ミサイル基地が全国で次々と配備され、大規模な日米合同軍事演習も行われています。その一方で、異常な円安、物価高のなかで国民生活や経営は圧迫されています。財政難を理由に社会保障の後退が進み、地域経済は厳しく、農山村は存続の淵においやられています。戦争への不安や生活苦からの打開を求める国民の願いに、政府も、また与野党の政党も応えられず、国民の政治不信はますます深まっている状況です。住民の生活と福祉に密着している地方・自治体から、国の政治を変えていかなければならないと思います。

今年の全国地方議員交流研修会は、「二度と戦場にさせない」と平和を希求する県民意思が強く示されている沖縄県で開催します。沖縄県は県独自の地域・平和外交を推進し、アジアとの経済交流による地域経済の発展とアジアの平和への展望を模索しています。一日目は、玉城デニー・沖縄県知事の基調講演のほか、各方面の特別報告での研修、二日目は5つの分科会での研修・討論を行います。昨年からすすんだ「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」、「日中不再戦自治体議員の会」をさらに発展させるなど、今後の連携と行動についても話しあいます。三日目は沖縄戦の戦跡めぐりと米軍基地・辺野古基地建設の視察を行います。

沖縄現地の自治体議員のみなさんが受け入れを準備されています。全国の党派をこえた自治体議員同士の研修・交流を深め、平和と国民生活、地域主権を守る運動を前進させましょう。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

9:30-16:00 (9:00開場) 会場: 沖縄県市町村自治会館 那覇市旭町116-37 Tel. 098-862-8181

分科会 9:30-13:00

● 第1分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割

問題提起: 羽場久美子さん(青山学院大学名誉教授)
沖縄県の平和・地域外交の実践/全国の米軍、自衛隊基地強化の実態を知る/日中不再戦の自治体議員のネットワークを

● 第2分科会 農業・農村を守り、食料自給を確立するために

問題提起: 鈴木直弘さん(慶応大学大学院教授)
「全国各自治体での実践、世論喚起のために」(オンライン)

● 第3分科会 戦跡に立つ日本の社会保障 地域のケアをどう支えるか

問題提起: 伊藤周平さん(鹿児島大学教授)

● 第4分科会 「こども計画策定」にあたって こどもの貧困の解消へ

問題提起: 山内優子さん(沖縄子どもの貧困解消ネットワーク共同代表)
「沖縄の子どもの貧困から見えてくるもの」

問題提起: 木本邦弘さん(沖縄県教職員組合 委員長)
「教員の働き方改革について」

● 第5分科会 防災・復興、原発問題を考える 地域主体の再生へ

事例報告: 能登半島地震から10か月の現状

問題提起: 小口泰人さん(南山法律事務所弁護士)
「支援制度から災害への備えを考える」

全体会 14:00-16:00

● 各分科会報告 ● 討論、アピール採択 ● まとめ・閉会

3日目: 1月31日(金)

オプション: 沖縄現地フィールドワーク(※参加費別)
Aコース: 沖縄戦をたどる/Bコース: 米軍基地と辺野古現地視察

各会場へのアクセス

琉球新報ホール

バス 県庁前駅 から徒歩 3分

バス 県庁前駅 から徒歩 3分

沖縄県青年会館

バス 県庁前駅 から徒歩 5分

バス 久茂地 から徒歩 2分

沖縄県市町村自治会館

バス 旭町 から徒歩 3分

バス 旭町 から徒歩 3分

